

令和8年度の委員会運営方法について

1 付議事件

経済成長及び国際都市・横浜の実現を目指すとともに、都市の成長の基盤を支える魅力と活力あるまちづくりの推進に関すること。

(参考：昨年度の調査・研究テーマ)

年度	調査・研究テーマ
令和7年度	つなぐイノベーション推進と循環型経済のための多様な連携促進について

2 特別委員会運営方法（市会運営委員会申し合わせ・確認事項抜粋）

- ・付議事件の調査・研究を目的として、委員間の意見交換、事例視察や参考人意見聴取などを行う。
- ・委員会報告書は、付議事件に対する結論や一定の方向性を得たとき又は議員任期が満了するときに議長に提出するものとする。

3 令和8年度調査・研究テーマ案

子育て世代に選ばれる駅周辺の魅力あるまちづくりについて

(テーマ選定理由)

令和7年国勢調査速報値による本市の人口は375万4840人で、前回調査と比べ2万2651人(0.6%)が減少し、本市人口は減少局面に入った。持続的な成長・発展する都市の実現に向け、将来の税収や都市活力を支える基盤として、若年層を含めた多世代の定住、特に子育て世代の流入促進が喫緊の課題となっている。

本市が居住地として選ばれるためには、利便性と居住環境の調和が図られた、魅力あるまちづくりを推進していく必要がある。

横浜市中期計画2026～2029や横浜市都市計画マスタープランにおいては、土地利用規制の緩和や住環境整備を通じた都市活力の向上が位置付けられており、人口流入促進の観点からは、特に、郊外部の暮らしを支える駅周辺の魅力向上が重要である。

そこで、令和8年度は、子育て世代に選ばれる都市の実現に向けて、本市の土地利用誘導施策の方向性を確認するとともに、他都市の先進事例も踏まえながら検証を行うこととし、「子育て世代に選ばれる駅周辺の魅力あるまちづくりについて」というテーマで調査・研究を行うこととしたい。